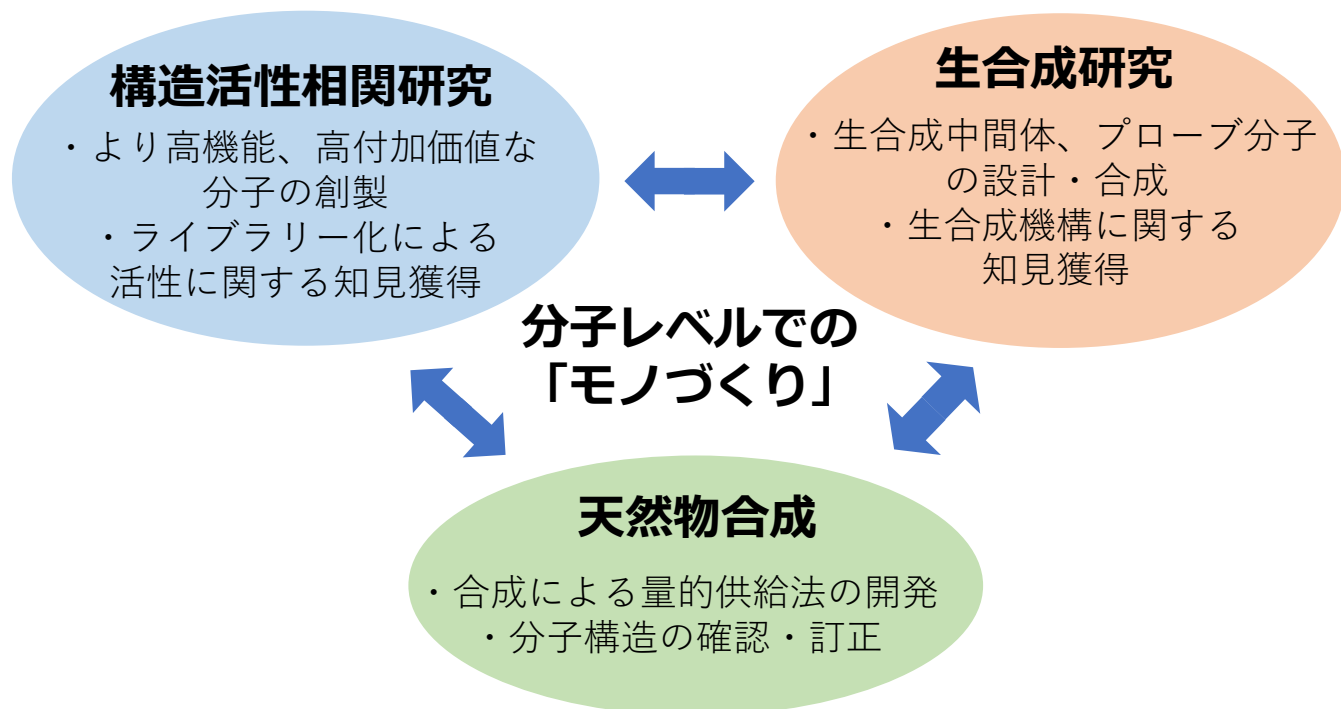


研究のイメージ図



自然界には様々な機能を持った有機化合物(生物活性物質)が存在しています。これらの中には医薬品や農薬など、人類にとって利用価値の高いものだけでなく、生物学的にも重要な意味を持つものもあります。天然資源から安定かつ大量に手に入れることが難しい希少な生物活性物質を標的として、**分子レベルでの「モノづくり」**を主軸とした研究を行っています。具体的には①試料供給を目的とした合成法の開発、②生合成経路の解明を志向した生合成中間体及びプローブ分子の設計、③構造活性相関研究を通じたより高機能な分子の創製などを通じて、「役に立つ」化合物を作ることにより特化した研究を展開しています。標的分子を合理的に作り上げる合成経路を立案し、自由自在に合成する「モノづくり」の力を軸足として、最新の計算化学的手法も取り入れながら生命現象を理解することを目指しており、それを通じて食糧問題や環境問題といった課題の解決に貢献したいと考えています。